Chapter 6

MY太陽光発電所導入に当たっての注意事項

◉ 第6章では、実際にMY太陽光発電所を導入する際の注意事項をまとめた。部材の設置・組み立てに当たっての細かい具体的な手順は取扱説明書などに掲載されているだろう。しかし、設置手順以外の部分でも、発電所を導入するに当たって留意しておきたいことはある。読みながら確認していこう。

MY太陽光発電所導入に当たっての注意事項

Chapter 6

固定価格買取制度のスタートとDIYでも設置できる「MY発電所キット」の登場で、やろうと思えば誰もが太陽光発電所のオーナーになれる時代が到来した！　とはいえ、実際にMY太陽光発電所を導入するに当たっては、設置工事以外の部分でも注意しておきたいことがある。この章では、「MY発電所キット」を例にとり、そういった注意事項を確認していきたい。

1. 事前準備が大切

2. 実際の設置

3. 組み立て後の確認とメンテナンス

1. 事前準備が大切

自分でも太陽光発電所を設置してみよう！　そう決意を固めたとなれば、すぐにでもソーラーパネルをはじめとする部材を探したり実際に注文したりしたくなるだろう。

しかし、準備が不十分な状態でパネルや周辺機材などが届いてしまうと、さまざまな想定外の事態に大慌てということになりかねない。備えあれば憂いなし。まずは十分に時間を取って、入念な受け入れ準備をしていこう。

事前準備

1 発電所を導入する場所で受け入れ準備を整える

太陽光発電所を設置する土地は決まっているだろうか？ **第4章の1.土地を用意する** も参考に、その土地の条件を確認しよう。近隣の環境面や法的条件がクリアできたら、電力会社との事前協議に入ろう。電力会社側の検討には通常1カ月程度の期間がかかるので、その間に、発電所の設置予定地の状況を整えておきたい。

ぜひとも事前に済ませておいてもらいたいのは、単管が入っていく土地かどうかの試し打ちだ。すんなり単管が打ち込める土地であれば問題はないが、地中に石などが多かった場合など、単管打ち込みのために重機を手配するか、あるいは巻頭の **実録レポート**（p001～）のように別の方法で単管を固定するかを検討しなければならない。予算面でも工期面でも大きな計画変更が出てくることなので、

心得ておきたい。

なお、すんなり単管が打ち込めなかったという場合でも、Looop社の「MY発電所キット」であれば設置を断念する必要はまったくない。これまでに多くの実績を持つLooop社では、その土地に合った施工方法などを提案してくれる。

余裕があれば、このタイミングで近隣の住民へのあいさつを済ませ、現地の雑草の刈り取りや周囲の木の伐採などもしておきたい。また、発電所設置後の雑草対策に加え、地方によっては雪対策などについても考慮しておきたい。

事前準備

2 太陽光発電所の部材は想像以上に大型で重い

ソーラーパネルは平面とはいえ大型で面積を取るし、枚数も多い。それを支える架台も、材質にもよるが大型で重たいものになるだろう。「MY発電所キット」の場合もそれは同様だ。DIYで作れるキットだから……と、つい安心してしまいがちなのだが、「MY発電所キット」が到着した際に、その木枠梱包の想像以上の大きさに驚いたというユーザーの声は多い。もっとも大きな架台の梱包だと、70cm以上の厚みと幅、3.5m近くの長さを持ち、その重さは1tを超える。それだけの大きさのものが届くという心構えでいてもらいたい。なお、キットは車上渡しとなる。あらかじめ1,000kg以上の耐荷重の**フォークリフト**などを手配しておくことをおすすめする。手配が難しい場合は、事前にLooop社にユニック車の手配を依頼しておこう。

特に複数の「MY発電所キット」を設置する場合など、人力で行っ

たのではキットを土地に運び入れるだけでへとへとになってしまう。それぱかりか、無理な運び方をして**キットを破損**させてしまっては元も子もない。事情が許すならば、極力フォークリフト、**ユニック**などの重機の力を借りたいところだ。

▶トラックで届く「MY発電所キット」

1ｔ以上の重量がある木枠梱包。

語句解説　フォークリフト：荷物を運搬するための重機。前方にフォークと呼ばれる爪があり、その爪を荷物の下に差し込んで持ち上げ、運搬する。運転のためにはフォークリフト運転技能講習を修了することが必要。

キットを破損：Looop 社の「MY発電所キット」の場合、購入者に対しては、組み立て工事用の保険を提供している。万が一施工中に製品を損傷してしまっても保険でカバーすることが可能だ。

ユニック：日本ではトラック搭載型クレーン。なお、「ユニック」「UNIC」は古河機械金属の登録商標で、ユニバーサル＋クレーンでユニックと名付けられた。

事前準備

3 部材の搬入経路と十分な開梱スペースを確保する

部材を搬入した後、直ちに取りかかりたいのが、その内容の確認だ。初めに梱包物がすべて届いたことを確認し、次に開梱してそれぞれの内容物が不足なくそろっていることを確かめよう。

「MY発電所キット」の場合、細かい部品の中には、形のよく似ているものもある。取扱説明書と慎重に照らし合わせながら、架台の単管の本数やネジなどの金具の数量までしっかりとチェックしたい。特に数量の多い部材や部品については、数量がそろっていることを複数人の目で確認しておきたいところだ。

万が一、部材や部品の不足・破損などがあった場合には、すぐに再手配をしなければならない。「MY発電所キット」では、キットの組み立て作業に入る前に直ちにLooop社に連絡しよう。

なお、「MY発電所キット」の場合、1セットの開梱に必要なスペースとしてLooop社が推奨しているのは5m×5m=25㎡の広さ。部材の数量の確認なども、これだけの広さがあれば支障なく行えるだろう。部材の性質上、急激な温度変化がなく、雨露をしのげる場所を用意したい。

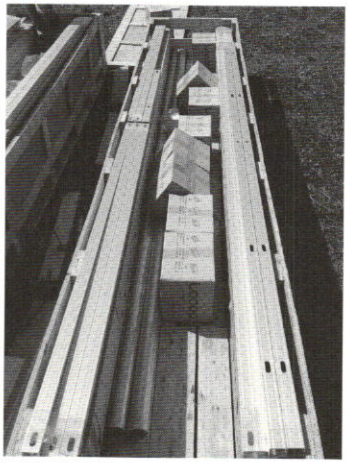
また、数量確認の際にやってしまいがちなのだが、くれぐれもソーラーパネルの上には物を置かないこと。破損の原因となってしまう。

梱包物　チェックリスト

- ☐ ソーラーパネル
- ☐ 架台
- ☐ パワーコンディショナー
- ☐ 分電盤
- ☐ ケーブル類、小物など

※上記は「MY発電所キット」の場合

▶開梱には広いスペースを



「MY発電所キット12kW」の部材と部品の一部。確認だけでもかなりのスペースが必要なことが分かる。

事前準備

4 部材を開梱する際に出るゴミの捨て方も考慮

意外と忘れがちなのが、部材を開梱した際に出るゴミの処分の問題だ。

発電所を設置する予定の敷地に何日間も大量のゴミが放置されているようでは、「最初からこんな調子で、これからどうなるの?」などと、近隣住民の方に無用な心配をかけてしまうことになりかねない。

お住まいの自治体のゴミの分別方法は把握しているだろうか? 燃えるゴミの日が何曜日かくらいは知っているかもしれないが、果たしてあなたが太陽光発電所を設置する予定の自治体では、木枠梱包はどんな種類のゴミに区分されているだろうか? 燃えるゴミなのか、粗大ゴミなのか、はたまた資源ゴミなのか……。

粗大ゴミや大量のゴミの場合、事前に排出申請をしたり予約をして専用のゴミ処理券を購入したりしなければいけない自治体もある。逆に、木枠などは指定のゴミ袋に入る大きさまで小さく切り分ければ可燃ゴミ扱いにしてくれる自治体もあるようだ。

特に要注意なのが、別荘の庭など、普段お住まいの自治体とは異なる場所に発電所を設置する場合。思い込みで分別してしまい、ルール違反で近隣住民の方やゴミ処理の方などに迷惑をかけてしまう事態だけは避けたい。

ゴミの捨て方についても、ぜひ事前に考慮しておこう。

事前準備

5 開梱場所での部材の保護と盗難対策

開梱を終えたからといって、すぐに発電所が完成するわけではない。そのため、部材の仮置き場にも注意したいところだ。特にソーラーパネルについては破損しないような仮置きの工夫が必要だし、盗難対策も念入りに行いたい。最低限、敷地の外から見て、それがソーラーパネルであることが分かるような置き方は避けたいところだ。

大げさに物置などを用意するまでの必要はないが、部材を置く地面にはシートなどを敷いておく、雨露をしのぐために上にシートなどをかぶせる、盗難を防ぐために柵を設けるなどの気遣いは必要だろう。

事前準備

6 必要な工具や備品も事前に準備

この本を手にしているような方なら、一般的なＤＩＹに用いる工具や備品は一通り持ち合わせていることだろう。しかし、せっかく設置工事を進めていたのに、工具が足りないために作業中断……というのではなんとも残念だ。念のため、次ページの一覧表も参考に、必要な工具や備品について今一度確認しておこう。

中には、荷造り用のひもや凧糸を水糸の代用にするなど、工夫次第で何とかできるものもある。また、設置工事の際にしか使わないものなどはレンタルなどでの手配でもよいだろう。一方、特に電気関連の備品などは発電所設置後のメンテナンスの際にも必要になってくるので、足りないものはこの際そろえておきたい。

▶推奨工具・備品一覧

工程	工具・備品
架台レイアウト	30mメジャー
	方位計
単管の打ち込み	複式ショベル
	安全ハンマー
架台の組み立て	5.5mメジャー
	水糸　※荷造りひもなどでの代用も可
	六角レンチ
	水準器（角度付）
	ディスクグラインダー　※パイプカッターでも可
配線、分電盤の設置など	電工ナイフ
	ワイヤーストリッパー
	ケーブルカッター
	ビニールテープ（白、赤、青）
	圧着工具
	テスター
	接地抵抗計
	接地抵抗器（メガ）
	1.6kW発電機
	電気ドラム

【工程全般】

19mmレンチ／トルクレンチ／13mmボックスレンチ／電動ドリル鋼鉄用ビット5mm、11mm ホルソー54mm／プラスドライバー

さらにこんな物もあると便利！

- 電動ハンマー、単管打ち込みアダプター
  ……単管の打ち込み
- 半丸やすり……単管カット後のバリ取り
- さび止め塗料……単管カット後のさび防止

2. 実際の設置

滞りなく部材の搬入を済ませたら、いよいよ実際に太陽光発電所設備を設置・組み立てする作業に入る。作業そのものは取扱説明書などをしっかり読んで、確実・丁寧に進めたい。ここでは、設置作業全般についてのポイントを解説していく。

設置

1 レイアウトは事前に決めておきたい

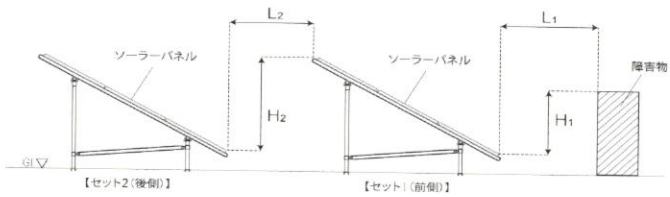
「MY発電所キット」の場合、1セットの設置に必要な推奨敷地面積は約150㎡。この広さの土地を確保できれば、DIYでMY太陽光発電所を設置することができる。そこで安心してしまいがちだが、できればキットの搬入前に架台とソーラーパネルのレイアウトは決めておきたい。

場所をとる部材を搬入した後だと、部材が測量の邪魔になってしまうこともある。また、場合によっては部材をどかせながら設置作業を行わなければならなくなるという可能性もある。二度手間になってしまうことのないよう、ここは極力計画的にいきたいところだ。

まずは土地の南側を確認し、次に設置場所の各種寸法の計測を行おう。多くの場合はソーラーパネルを複数列に分けて配置することになるが、この際には、前列と後列のパネルの間に影を考慮した間隔(前後距離)を空ける必要もある。これは、影倍率一覧表(p148)を参考に、次の計算式で割り出すことができる。

▶ソーラーパネル前後の設置距離の計算式

$$L_1 = H_1 \times \text{影倍率} \qquad L_2 = H_2 \times \text{影倍率}$$



$L_1 \cdot L_2$	前後距離
H_1	「障害物の高さ」と「セット1（前側）ソーラーパネル1段目」との高低差
H_2	「セット1（前側）ソーラーパネル上段部」と「セット2（後側）ソーラーパネルの1段目」との高低差
α	影倍率（設置地域に近い場所を選ぶ）

こういった計測や距離の計算などは、一見地味な作業だが、発電所全体の土台となる要の部分でもある。正確さを第一に、時間がかかっても丁寧に行いたい。

なお、Looop社でも「MY発電所キット」設置予定の土地の現地調査を請け負っている。現地調査の上で、その土地に最適と思われる架台やパネルのレイアウトを作成するという非常にユーザー目線の親切なものなので、ぜひ利用したい。MY発電所完成後のイメージをつかむのにも有効だろう。

▶影倍率一覧表

都道府県	場所	北緯(度)	東経(度)	影倍率(α)
北海道	札幌	43	141	3.6
	稚内	45	141	4.3
	帯広	42	143	3.6
	函館	41	140	3.3
青森	青森	40	140	3.1
岩手	盛岡	39	141	2.9
宮城	仙台	38	140	2.7
秋田	秋田	39	140	2.9
山形	山形	38	140	2.7
福島	福島	37	140	2.6
茨城	水戸	36	140	2.5
栃木	宇都宮	36	139	2.5
群馬	前橋	36	139	2.5
埼玉	さいたま	35	139	2.4
千葉	千葉	35	140	2.4
東京	新宿	35	139	2.4
神奈川	横浜	35	139	2.4
新潟	新潟	37	139	2.7
富山	富山	36	137	2.5
石川	金沢	36	136	2.5
福井	福井	36	136	2.4
山梨	甲府	35	138	2.4
長野	長野	36	138	2.5
岐阜	岐阜	35	136	2.3
静岡	静岡	35	138	2.3
愛知	名古屋	35	136	2.3

都道府県	場所	北緯(度)	東経(度)	影倍率(α)
三重	津	34	136	2.3
滋賀	大津	35	135	2.3
京都	京都	35	135	2.3
大阪	大阪	34	135	2.3
兵庫	神戸	34	135	2.3
奈良	奈良	34	135	2.3
和歌山	和歌山	34	135	2.2
鳥取	鳥取	35	134	2.4
島根	松江	35	133	2.4
岡山	岡山	34	133	2.3
広島	広島	34	132	2.2
山口	山口	34	131	2.2
徳島	徳島	34	134	2.2
香川	高松	34	134	2.2
愛媛	松山	33	132	2.2
高知	高知	33	133	2.2
福岡	福岡	33	130	2.2
佐賀	佐賀	33	130	2.1
長崎	長崎	32	129	2.1
熊本	熊本	32	130	2.1
大分	大分	33	131	2.1
宮崎	宮崎	31	131	2.0
鹿児島	鹿児島	31	130	2.0
沖縄	那覇	26	127	1.6

上記のデータは参考値としてご覧ください。
実際に設置する場合の影の影響は、その土地の条件によって異なります。

設置

2 実際の設置の流れ

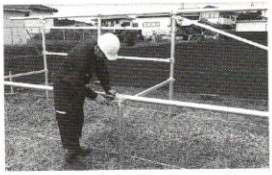
次に、実際の設置工事の大体の流れを押さえておこう。「MY発電所キット」の設置工事の大きな流れは以下の通りだ。

次ページから、写真を交えて大まかな設置工事の流れを紹介する。

▶設置の流れ

① 測量と配置

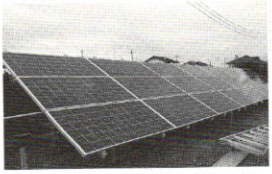
② 架台の単管の打ち込み



③ 架台の骨組みの組み立て

④ 架台の縦レールの設置

⑤ パネルの設置



⑥ 完成

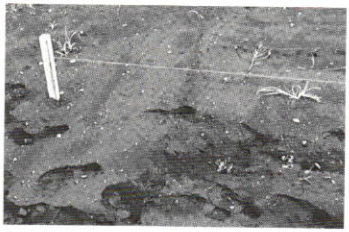
① 測量と配置

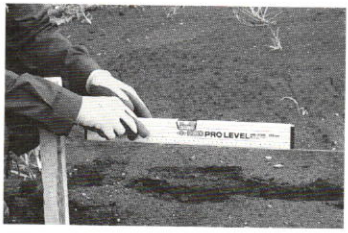
測量は設置工事の要となる部分。大人２人以上の目で確認しながら、慎重かつ正確に行っていきたい。

杭の打ち込み

水糸引き

水糸を平行に張る作業は、特に慎重に行いたい。





水糸を引き、水準器を用いて平行をとる。

② 架台の単管の打ち込み

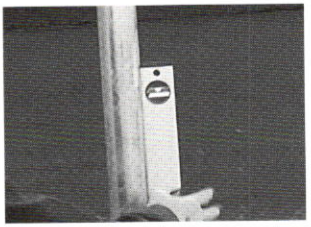
架台を支える支柱となる単管の打ち込み。この作業が終わると、MY太陽光発電所完成後の面積と高さが見えてくる。

複式ショベルで穴を掘り、単管を挿し込む

土を挟み込んで掻き出す複式ショベルは、単管用の穴掘りに最適。

複式ショベルで穴を掘った地面に単管を挿入する。

安全ハンマーで単管を打ち込む

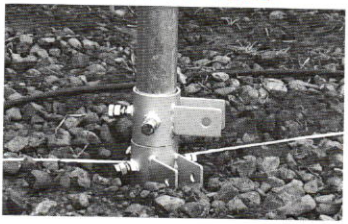


水準器で垂直になっていることを確認しながら打ち込んでいく。

③ 架台の骨組みの組み立て

単管を打ち込み終えたら、単管にスリーブとキャップを取り付け、架台の骨組みを完成させる。ここで使用する部品には似ているものが多いので、ネジ締めをする前にしっかり確認していこう。

スリーブとキャップの装着



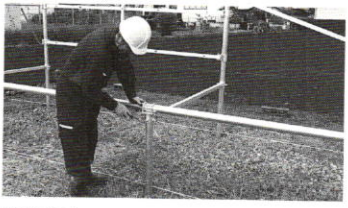
スリーブ

スリーブ付きキャップ

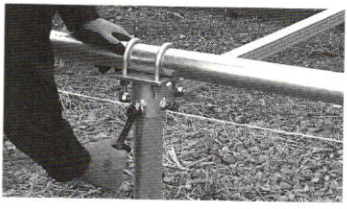
骨組みの組み立て

横の筋交い

縦の筋交い

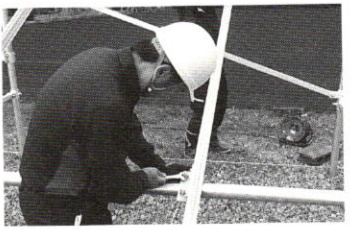
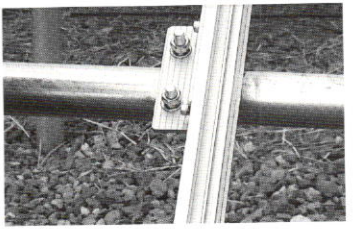


横パイプ



④ 架台の縦レールの設置

完成した骨組みに縦レールを設置していく。この作業が完了すれば、架台部分は完成となる。

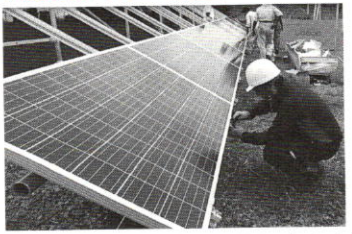
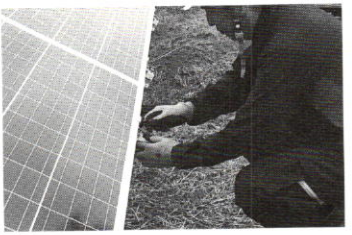



ネジ締め、U字ボルトによる固定など。

⑤ パネルの設置

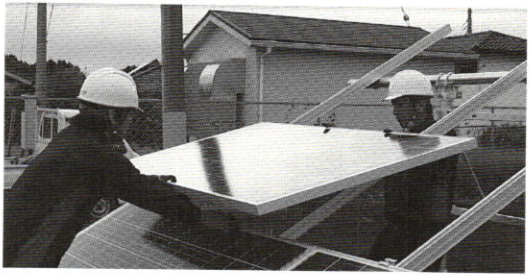
設置工事もかなり大詰め。完成した架台に、いよいよソーラーパネルを設置していく。ソーラーパネルを破損することのないよう、慎重に行いたい。

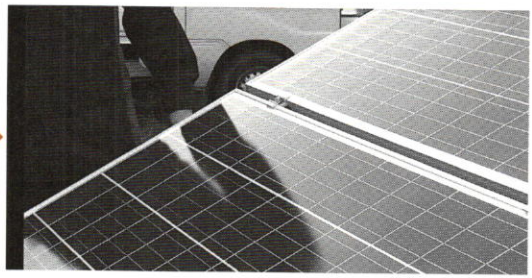
1段目のパネルの設置

一段目のパネルの下端をそろえることで、きれいにソーラーパネルを並べることができる。

2段目のパネルの設置

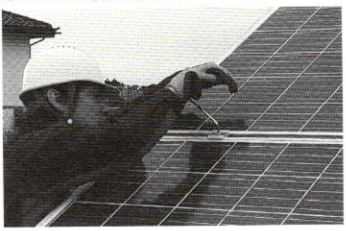
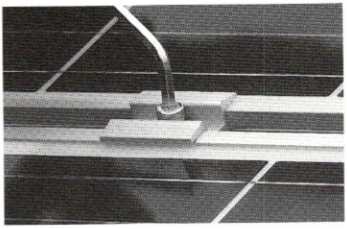


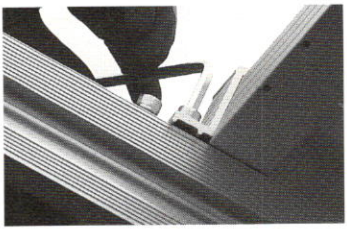


3段目のパネルの設置

特にカスタマイズを行わなければ、「MY発電所キット」の最上段のパネルも脚立を使って載せることが可能だ。

ボルトの締め付け



⑥ 完成

ついにMY太陽光発電所の設備が完成した！　電気工事と諸手続きが終われば、売電を開始することができる。

完成した「MY発電所キット」

8列×3段、合計24枚のソーラーパネルが並ぶ「MY発電所キット」。

メモ　測量などは大人2人以上で行うことが望ましいし、単管の挿入、架台の組み立てやレールの設置、ソーラーパネルの設置などは、人海戦術が可能な部分だ。工期短縮のためにも、ぜひ、家族や友人知人の力を借りてMY太陽光発電所を作っていこう。完成後の発電所への愛着も大きくなるに違いない。

設置

3 電気工事

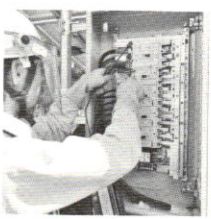
充実した分かりやすい取扱説明書があることも「MY発電所キット」の特徴のひとつ。これによって、架台の設置、ソーラーパネルの配置といった太陽光発電所の設備そのものは、誰もが完成にこぎつけられるものとなった。

しかし、ソーラーパネルで発電した電気を売電までこぎつけるためには、どうしても専門的な知識と資格が必要になってくる。

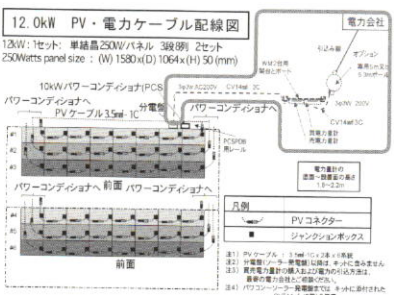
各ソーラーパネルからパワーコンディショナーと分電盤への配線・接続、さらに「MY発電所キット」には含まれない引込ポールの設置とケーブルの敷設などの電気工事には、第一種または第二種の電気工事士の資格が必要だ。この部分は有資格者に依頼しよう。

なお、Looop社では「MY発電所キット」の設置のうち、電気工事部分だけの依頼も受け付けている。キットに含まれない引込ポールの設置やケーブルの敷設などの工程も含めて、豊富なノウハウを持つプロに任せてしまうのもまた一案かもしれない。

▶電気工事



電気工事は有資格者に依頼する必要がある。



※分電盤以降の部分 ▭ は「MY発電所キット」には含まれない。

3. 組み立て後の確認とメンテナンス

いよいよMY太陽光発電所の完成！ と、ここで再度気を引き締め、全体の確認を行いたい。架台やパネルは正しく配置できているだろうか？ 配線や電気工事関係は大丈夫だろうか？ また、MY太陽光発電所の稼働後の点検項目についても見ていこう。

確認 メンテ

1 架台とパネルは正しく設置できているか？

架台は十分な強度でしっかり設置できているだろうか？ その上のソーラーパネルは正しく設置できているだろうか？ ここで再度、ネジの1つひとつまで入念に確認しておこう。

太陽光発電所は屋外に設置されることもあり、どうしても時間の経過とともに架台やパネルのねじは緩んでしまう。ねじが緩んでいると台風などの強風時にパネルが飛ばされてしまう危険もある。

完成時に確認するだけでなく、MY太陽光発電所の稼働後も、ネジの確認・締め直しはぜひ定期的に行うようにしたい。

確認メンテ 2 接続・電気関連の確認

電気工事の部分は有資格者が行うとはいえ、人間はミスをする生き物。電気工事関連の部分も、きちんとできているか確認したい。

詳細な要確認項目についてはそれぞれの部材の取扱説明書などを参照すればよいだろう。一般的には、テスターを用いたコネクタの接続確認、パワーコンディショナーの電圧確認のほか、一般家庭でも行うようなブレーカーのチェック、絶縁抵抗計を利用した絶縁試験、分電盤の電圧確認（入力、出力）、連系試験などを行う必要がある。

確認メンテ 3 Looop社のサポート

ここで述べたような確認を自分だけで行うと、逆に「本当にこれで大丈夫なのだろうか……?」と不安になることもあるだろう。

しかし、「MY発電所キット」の場合なら、こういった心配は無用だ。設置工事について不明点があれば、Looop社に相談してみよう。Looop社の技術担当者が、プロの目線から各種サポートを行ってくれる。また、必要があれば現地でのチェックを行ってくれる場合もある。

メモ
Looop社のHPにあるサイト「太陽光発電設置シミュレーター」
http://looop.co.jp/psim/index.html　は要チェック!
年間予想発電量と年間売電額を簡単にシミュレーションできる。

確認メンテ

4 定期的な点検とメンテナンス

いよいよMY太陽光発電所が稼働！　安定的に発電し、投資金額を回収するためにも、定期的な点検やメンテナンスは忘れずに行いたい。

Looop社の推奨する定期点検は次ページの表の通りだ。

太陽光発電所のメンテナンスとして、もっとも頻繁にやらなければならない作業は雑草対策だが、その際にもうひと手間をかけるつもりで、こまめに点検を行いたい。

メモ　次ページの表で対処法の欄を見ると、「Looopに連絡」という解決策が多く目につくだろう。これはLooop社の意気込みの表れ。同社の社員はみな、「最低でも固定価格買取制度の続く20年間、お客さまとお付き合いさせていただくつもりでいます！」と口をそろえる。専門的な知識・技術がなくとも大丈夫。「困った時のLooop頼み」ができるのだから、誰もが安心してMY太陽光発電所を導入できるというものだ。

▶点検およびトラブルシューティング

区分	点検項目	点検内容	点検頻度	異常がある場合の対処法
ソーラーパネル	ガラスの汚れ・破損	ガラスの著しい汚れ・破損がないか？	6カ月毎	• 汚れている場合は、柔らかい布で拭く。 • 破損が見られる場合は、Looopに連絡。
	フレームの破損・変形	フレームの著しい破損・変形がないか？	6カ月毎	• Looop に連絡。
	ソーラーパネルの固定	著しい変形・傾きがないか？	1年毎	• 架台を立て直し、パネルを設置し直す。
	外部配線の破損	外部配線の破損がないか？	6カ月毎	• パワーコンディショナーのブレーカー（入力と出力）をOFFにし、配線を交換する。
	障害物	ソーラーパネルに障害物が乗っていないか？	6カ月毎	• 障害物を取り除き、障害物が乗っていた場所に破損がないことを確認。
架台	固定金具ネジゆるみ	パネルを確実に固定して取り付けられ、ネジのゆるみがないか？	6カ月毎	• ネジのゆるみがある場合は、増し締めする。
	ネジゆるみ	確実に取り付けられ、ネジのゆるみがないか？	6カ月毎	• ネジのゆるみがある場合は、増し締めする。
パワーコンディショナー	端子台のネジゆるみ	確実に取り付けられ、ネジのゆるみがないか？	1年毎	• ブレーカー（入力と出力）をOFFにし、端子台のネジを増し締めする。
	配線・アース工事	配線・アース線に異常がないか？	6カ月毎	• 配線・アース線が外れている場合は、取り付け直す。 • 配線・アース線に劣化が見られる場合は、交換する。
	通気	通気口をふさいでいないか？	6カ月毎	• 通気口の前に物を置かない。
	周囲の風通し	パワーコンディショナの周りの風通しが良いか？	6カ月毎	• パワーコンディショナーの周りをふさがない。
	周辺の可燃性ガスや引火物	周りに可燃性ガス・引火物がないか？	6カ月毎	• 可燃性ガス源や引火物を近くに置かない。
	異常音・振動・異臭	異常音・振動・異臭はないか？	6カ月毎	• 異常音・振動・異臭などがある場合は、直ちにLooopに連絡。
	異常過熱	異常過熱はないか？	6カ月毎	• 異常過熱がある場合は、直ちにLooopに連絡。
	サビ・汚れ	著しいサビ・汚れがないか？	6カ月毎	• 著しいサビがある場合は、Looopに連絡。 • 汚れが見られる場合は、乾いた布などで清掃する。

区分	点検項目	点検内容	点検頻度	異常がある場合の対処法
運転停止	パワーコンディショナ	運転スイッチの操作で運転し、エラー表示しないか？	6カ月毎	•エラー表示される場合は、Looopに連絡。
		運転スイッチの操作で停止するか？	6カ月毎	•停止しない場合は、Looopに連絡。
	商用電源	停電させ瞬時にパワーコンディショナーが停止するか？	6カ月毎	•停止しない場合は、Looopに連絡。
		復電させ復電タイマー作動後運転するか？	6カ月毎	•停止しない場合は、Looopに連絡。
発電電力	出力電力の確認	連系運転中モニター表示器の電力表示は正常か？	6カ月毎	•表示に異常がある場合は、Looopに連絡。
		自立運転時出力するか？	6カ月毎	•出力に異常がある場合は、Looopに連絡。
	発電電力量	パワーコンディショナーの発電電力量は正常か？	6カ月毎	•発電電力量に異常がある場合は、Looopに連絡。
		積算発電量は正常か？	6カ月毎	•積算発電量に異常がある場合は、Looopに連絡。
電源ブレーカー等	配線・接続部分	配線の異常・接続部分のゆるみはないか？	6カ月毎	•ゆるんでいる場合は、接続し直す。
ソーラーパネル	絶縁抵抗	ソーラーパネル(+)と接地間	6カ月毎	•非絶縁部分を調べ、Looopに連絡。
		ソーラーパネル(−)と接地間	6カ月毎	•非絶縁部分を調べ、Looopに連絡。
		分電盤と接地間	6カ月毎	•非絶縁部分を調べ、Looopに連絡。
		パワーコンディショナーと接地間	6カ月毎	•非絶縁部分を調べ、Looopに連絡。
	ソーラーパネルの開放電圧	系統ごとの開放電圧を測定	6カ月毎	•パネル、PVコネクターの接続、圧着具合を調べ、不具合がある場合はLooopに連絡。
		系統バラツキ	6カ月毎	•パネル、PVコネクターの接続、圧着具合を調べ、不具合がある場合はLooopに連絡。